



諏訪湖クラブニュース

NO. 3

まちづくりシンポジウムに向けて

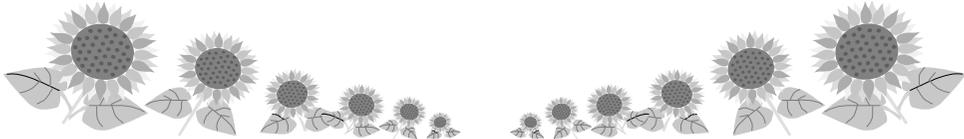
会長 沖野外輝夫

12月の発会式で講演をしていただいた松井英子氏からNPO 日本民家再生リサイクル協会との合同シンポジウムの企画提案が寄せられています。その趣旨は、魅力ある地域の再生にその地域独特の貴重な歴史的建造物を活かす方策を全国の組織と協同して議論し、諏訪地域の発展にも寄与したいとするものです。

日本民家再生リサイクル協会は発足して10年目の節目の年を迎える、会員数1,700名の全国組織だそうです。日本の貴重な財産ともいべき民家を守り、次世代へ住み継いでいく運動を全国的に展開し、民家リサイクルの架け橋となる「民家バンク」という組織を立ち上げています。諏訪圏域にも多くの民家があり、まちづくりの計画にも重要な要素となっています。当諏訪湖クラブの会員にも建築関係の方だけでなく、古民家に関心を持つ会員も少なくありません。理事会でも積極的にこの提案に取り組むことになりましたので、興味のある方々の積極的な参加を期待しています。詳細については担当の宮坂平馬理事の報告をご覧ください。

この4月に「環境と公害」編集同人（日本環境会議・岩波書店）の現地編集会議が広島県福山市の鞆の浦で開かれました。鞆の浦は、万葉の時代から「潮待ち・風待ちの港」として、独特な文化を育み、継承してきた瀬戸内海の中心的港町です。中世には朝鮮通信使も立ち寄り、「日東第一景勝」としてその美しさを絶賛した、自然円形港湾としても有名です。この鞆の浦には江戸期に栄えた町家が180軒余あり「美しい歴史的風土100選」（2007年度）にも選ばれ、まちづくりの重要な要素とされています。しかし、その再生、保存、維持には住民グループの大変な努力があり、ちょっと油断すると、便利さのための道路開発や駐車場造成のための砂浜の埋め立てが計画されると、案内された住民代表の方々は嘆いておられました。それでも住民の手で見事に再生された民家が集会場や博物館として利用され、住む人もいず、荒れ果てていた町家が観光客に人気の喫茶家屋として再生されていて、歴史的な町並み、町家が訪問者を暖かく包み込んでくれました。

秋に企画されている合同シンポジウムが諏訪圏域に新たな風を吹き込んで多くの人たちと大いに語り合い、楽しい未来が開けることを期待しています。



==== 3月23日（日） 第一回定期大会および平成20年度総会が開催されました ====

大変ご報告が遅くなり恐縮ですが、昨年12月のクラブ創立後初めての第一回定期大会が、3月23日（日）諏訪市文化センターにて開催されました。

地域の課題を解決するためには、産官学連携ではなく、『民産学行協働』が重要で、そのための住民の知識のレベルアップを図る手段として、住民主体の科学的討論の場が必要であると、沖野会長は開会挨拶の中でクラブの目的を話されました。

大会では、「諏訪湖環境保全研究」「諏訪圏のまちづくり」「諏訪圏域での新エネルギー活用計画」の三テーマで研究成果をそれぞれ発表した。会員など約50名が参加しこれらの発表をもとに熱心に学習、そして情報交換しました。

大会に引き続き平成20年度総会を開催し、事業計画や予算案などを決めました。なお、経過報告に留めさせていただきます。決算につきましては、9月の大会において改めてご報告をさせていただきます。



=====

Information

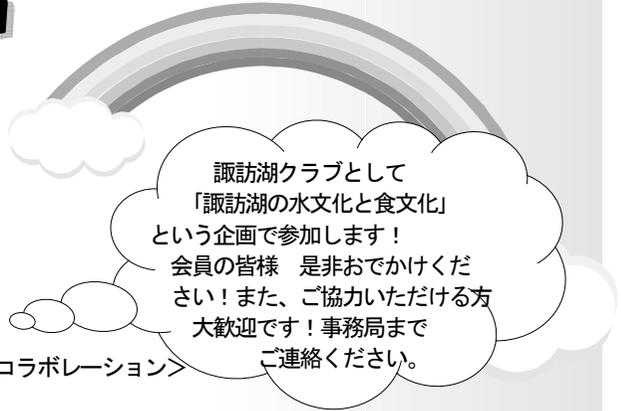


諏訪湖クリーンフェスティバルへの参加

【日 時】 9月6日 (土) 9:00~15:00
 【場 所】 クリーンレイク諏訪 (豊田終末処理場)

タイトル 「諏訪湖の水文化と食文化」

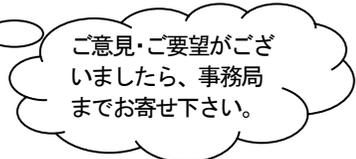
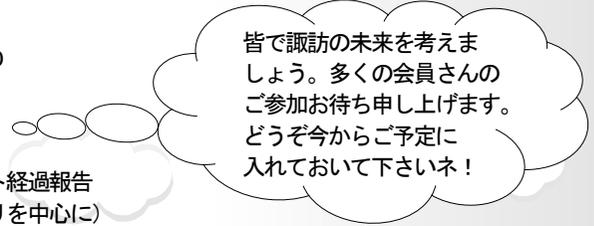
- ◇諏訪湖産ワカサギ
- ◇諏訪湖の水でお茶
- ◇落水川浄化の空心菜
- ◇原村特産セロリ<諏訪の味噌との安心安全コラボレーション>



平成20年度大会予定が決まりました

【日 時】 9月13日 (土) 13:00~17:00
 【場 所】 下諏訪文化センター
 ≪平成20年度大会予定プログラム≫

1. 研究報告
 - 1-1. 新エネルギー開発プロジェクト経過報告
 - 1-2. 地産地消プロジェクト (セルリを中心に)
 - 1-3. まちづくりプロジェクト (日本民家再生協議会との共同シンポジウムに向けて)
 - 1-4. その他 (会員の方からの提案を募集しています)
2. 平成20年度総会
 - 2-1. 平成19年度会計報告
 - 2-2. 平成20年度中間報告
 - 2-3. その他



「諏訪湖クラブと日本民家再生リサイクル協会との交流会(合同シンポジウム)」

【日 時】 10月11日 (土) 10:30~

テーマ 「諏訪の歴史と文化を大切にしたまちづくり」
 —サブテーマ— 「古い建物をどのように活用していくか」
 & 「新しい建物とどのように融合させていくか」

諏訪湖クラブと(NPO)日本民家再生リサイクル協会(通称JMRA)と共同で、街づくりに関する交流会を行います。諏訪に興味のある方が、諏訪から見た諏訪の良さ、外から見た諏訪の良さを意見交換し、諏訪の街づくりに参考になればという計画です。また従来諏訪を知らなかった人にも諏訪を知ってもらい良い機会でもあります。午前からの街歩き、昼の交流会と夕方の懇親会を予定しています。街歩きだけ、交流会あるいは懇親会だけ、でも、懇親会のある方は、それぞれのご都合に合わせてぜひご参加ください。 <ただし、お申し込みが必要です>

≪スケジュール≫

- 10:30 上諏訪駅前集合 街並み探検スタート
 <駅一本町2丁目一並木通り一丸高蔵一中門川沿い一小和田地区一法光寺へ>
 13:00~ 法光寺にて昼食 (町歩きに参加したメンバーのみ)
 13:40~ 交流会
 16:00~ 諏訪の酒蔵、諏訪の街並みなどを自由に見学
 18:30~ 布半にて懇親会 終了

(合同シンポジウム) 交流会 参加お申し込み用ページ

参加ご希望の方は 下記に必要事項をご記入のうえ **FAX** **あるいは E-mail**にてお申し込みください

FAX用 下記に必要事項をご記入の上、**事務局 (0266-58-0490)** までこのページを送信してください。

参加者氏名				
連絡先電話番号				
参加項目	街歩き	参加	不参加	参加/不参加 どちらかを選択してください。
	街歩き (10:30~) 希望者は上諏訪駅前10:20集合 (昼食代1000円)			
	交流会 (法光寺)	参加	不参加	
	交流会 (13:40~) 参加希望者 法光寺13:30集合 (昼食は済ませていらして下さい。お茶代300円)			
	懇親会 (布 半)	参加	不参加	
	懇親会 (18:30~) 参加希望者は布半18:20集合 (会費1人5000円、追加分は別途徴収)			
◆参加費は当日、現地徴収とします。 ◆申込期限は9月末日とします。 ◆同行者のいる場合、その他連絡事項等ある場合は、下記の備考欄へその旨ご記入ください。				
<備考>				

E-mail用 下記の枠内の項目を入力して**事務局 (e-suwa-info@lake.gr.jp)** まで送信してください。

【件名】 諏訪湖クラブ交流会参加希望

【本文】 参加者氏名 : ○○○○

連絡先電話番 :

参加項目 :

<備考>

注意事項

- ・街歩き希望者は上諏訪駅前10:30集合 (昼食代1000円)
- ・交流会 (13:40~) 希望者は法光寺13:30集合 (昼食は済ませていらして下さい。お茶代300円)
- ・懇親会 (18:30~) 希望者は18:20布半集合 (会費1人5000円、追加分は別途徴収)
- ・参加費は当日、現地徴収とします。
- ・申込期限は9月末日とします。
- ・同行者のいる場合、その他連絡事項等ある場合は、その旨備考欄にご記入ください。

諏訪圏域再生可能エネルギー行動計画の具体化に向けて

谷辰夫・沖野外輝夫

本年3月の諏訪湖クラブ第一回定期大会で谷辰夫理事より「諏訪圏域での新エネルギー活用計画」の推進についての提案がありました。谷理事はその発表で、再生可能エネルギーを利用する行動計画が地域で必要となる背景を以下のように要約されています。

1. 地球環境・エネルギー問題解決は21世紀の最重要課題の一つである。
2. その解決には国家的戦略、政策と積極的な取り組みが必要となる。
3. これらの問題は国民全員の解決課題であり、住民参加型の運動として展開すべきである。市民ファンド（諏訪湖基金等）の検討も必要である。
4. 諏訪圏域各自治体では「新エネルギービジョン計画」が一部を除きすでに発表されている。諏訪市の特徴としては太陽光と温泉熱が上げられている。
5. それらの計画には地域の特性を活かした独自の内容が盛り込まれている。
6. 残るは具体的な行動計画を地域の民産学官が一体になって作成し、実行に移すべき時期となっている。

しかし、残念ながら未だに具体的な行動計画策定の動きはありません。そこで、定期大会の場で永見氏（環境省）より提案のあった温泉熱利用による発電の可能性について諏訪湖クラブとして具体的な検討に入ることにしました。この温泉エネルギーの活用は諏訪市独特の計画にもなり、他の再生可能エネルギー利用計画の第一歩として取り上げるのにもふさわしいと考えられます。

その後、永見氏からの示唆もあり、再生エネルギーの活用について2004年から具体的な取り組みをしている「おひさま進歩エネルギー」の関係者とも協議をし、とりあえず活動の進展のために環境省が推進する「平成20年度コミュニティ・ファンド等を活用した環境保全活動促進事業」に事業の申請書を提出しました。この事業は地域連携システムを実証的に構築するモデル事業の発展段階を支援することを目的としています。

そして、7月末この申請がモデル事業として正式に採択されました。今後は何らかの具体的な行動を始めて、地域の自治体に具体的な行動計画を早急に提案しなければならない時期にあることは確かなことです。諏訪湖クラブの会員各位も新エネルギーに関心はあっても専門ではないからと躊躇される方々もあるかもしれませんが、知識の有無にかかわらず議論に参加して下さいをお願いします。また議論の中核として積極的に参加していただける方々は沖野（事務局）までFAX（0266-58-0490）でお申し出下さい。議論の進展の内容に関しては逐次ニュース等で会員全員にお伝えしていきます。

『新エネルギー活用計画』への議論の輪へ積極的に参加して下さい方を募集しています！！

7月31日付の信濃毎日新聞（朝刊）に関連記事が掲載されましたので、参考資料としてコピーを同封しますので、併せてご覧いただければ幸いです。

理事紹介

金子 田美 様

21年前、仲間とともに全国語学教育学会（JALT）諏訪支部（現信州）をたちあげ、万年役員。そして19年前、環境問題なんて誰も考えなかった頃に諏訪湖チャリティ・ウォークが始まりました。言葉に関わる仕事をつづけてきて40年からの過程で、仲間に加わっているうちに、気がつくとなぜか諏訪湖クラブの役員の一員になっていました。神様のなさることは不思議です。いつもすてきな出会いをくださいます。未熟者ですが、どうぞよろしく願っています。



小池 大洋 様

原村に生を受け、高校から東京暮らしを20年行い、諏訪に帰ってきて早17年が経ちます。諏訪に帰ってきてからは、青年会議所、諏訪湖シャボンなどの活動を通じて、利己的な仕事人間としての生き方以外に、地域や人々と共に生きるという利他性を教えていただきました。さらにそのご縁で諏訪湖クラブの一員とさせて頂きました。少しでも世の為、人の為に生きたいと思っておりますのでよろしく願っています。ありがとうございます。



第19回諏訪湖チャリティ・ウォーク報告



日 時： 平成20年5月3日（土）（憲法記念日） 8：30 a.m.～1：35p.m.
 フォーラム：12：10p.m.～1：35p.m.（於：岡谷市下浜区民センター）
 研究発表：「諏訪湖の健康診断」 今井 晶子氏（信州大学修士課程1回生）
 ジャズ演奏：諏訪東京理科大学「JAZZ 研究会」

目 的： 国際交流と環境問題への意識の高揚を目指す
 参加者：154名
 寄付金：36,983円
 （帰路の乗船代他、諏訪湖浄化の活動資金）



諏訪湖畔にある諏訪市野外音楽堂に集合し、開会式終了後、午前9時より、参加者それぞれが岡谷市湊方向（時計回り、約8キロ）と下諏訪方向（反時計回り、約8.5キロ）の2方向に分かれて歩き始める。参加者同士交流しながら、沖野先生、花里先生、宮原先生の3講師を中心に、さらに信州大学の学生さん達とともに諏訪湖の観察をしながら歩く。花里班はキーポイントの1つであるピオトープでの生物の様子を解説。宮原班は要所、要所にて、水質検査を行う。バケツに水を入れて歩く学生たち。持ち帰って早速に検査をするため。子供の参加が多かったので、沖野先生の注意に従い、歩く速度に注意。いろいろ教えてもらいながらの観察歩き、「こんなに楽しく歩けたのは初めて」という嬉しいご意見がアンケートにありました。環境の勉強と国際交流をしながらの諏訪湖半周、講師の先生方や学生先生もひっぱりだこで、フォーラム開始が10分遅れてしまいましたが、全員無事フォーラム会場に到着。

12時10分より、下浜区民センターにてフォーラム開始。恒例の諏訪建設事務所長の八幡義雄氏に加え、今回は下浜区長の小口俊氏にもご挨拶いただく。今後も諏訪建設事務所のご協力はもとより、下浜区の皆様のご協力を大いに期待したいと思います。

フォーラムは3部構成。

最初に信州大学山岳科学総合研究所で学ぶ信州大学修士課程1年生の今井晶子さんが「諏訪湖の健康診断」と題して研究発表。諏訪湖の健康状態を知る1つの手だてとしての水の温度を中心に、湖水の流れの変化や、その水草や生き物への影響等を、20分という短い時間でしたが、パワーポイントを使って、小さな子供たちにも分かりやすく説明。後で「試験？」があるので聴く皆も真剣でした。

第2部は、研究発表を基にした「クイズ」。実はこれが「試験」。英語と日本語のバイリンガルで全員が挑戦。3択問題の勝ち残り戦。毎回市民新聞社様からのご寄付のステキな賞品の「盾」を目指して、楽しくかつ有意義な時間です。

最後は演奏会。今回は諏訪東京理科大学の「ジャズ研究会」の仲間達9名。迫力ある演奏を聞かせてくれました。楽器の搬送、学生達の送迎等、理科大の藤瀬先生と清藤先生、ご苦労さまでした。ありがとうございました。会場にピアノがあったことも幸いでした。ジャズ演奏をより効果的にしてくれました。

2時10分に白鳥丸にて帰諏訪。5月晴れの薫風の中、360度のすばらしい景色を眺めながら、湖上より今一度諏訪湖を観察。

「環境の学習」も、「楽しく国際交流」も、と欲張りなこの諏訪湖チャリティ・ウォーク、上記内容で19回も無事開催できました。皆様、ご協力、本当にありがとうございました。

今回は小学生ぐらいの子供さんたちの参加が目立ちました。家族ぐるみでの参加は諏訪湖チャリティ・ウォークの趣旨が、確実に次世代へつなげられていることの証だと思えます。また、初めてブラジルの方たちも参加。お陰様で「人」と「人」の「温かい出会い」も確実に広がっています。感謝！感謝！

来年は20周年。JALT(全国語学教育学会)信州支部では記念植樹の計画も立てています。どんな木がよいのか等、諏訪湖クラブのみなさんからもお知恵やご意見をいただけると嬉しいです。



以上
 文責 金子 田美

理事会開催報告

- 第4回 日時 : 平成20年3月20日(日) 午前10時~12時
 出席者 : 沖野・小口(武)・鴨志田・久住・高木・長崎・宮坂・両角 <敬称略>
 内容 : 平成19年度諏訪湖クラブ第一回定期大会および平成20年度総会について
- 第5回 日時 : 平成20年4月20日(日) 午前10時~12時
 出席者 : 沖野・小口(武)・金子・小池・鴨志田・久住・花里・宮坂・事務局 <敬称略>
 内容 : 1. チャリティー・ウォーク(5月3日)の共催について
 2. まちづくり講演会・現地見学会の共催について
 3. 温泉熱利用発電の今後の対応について
 4. 第1回大会、総会の反省と今後の展開、次回大会の予定 その他
- 第6回 日時 : 平成20年5月18日(日) 午前10時~12時
 出席者 : 沖野・小口(武)・金子・谷・長崎・宮坂・両角・事務局 <敬称略>
 内容 : 1. 諏訪地域エネルギー事業について
 2. (NPO)日本民家再生リサイクル協会との合同イベントについて
 3. 美しい環境づくり諏訪地域推進会議について
 4. 諏訪地域景観協議会への出席について
 5. 平成20年度大会について
 6. 報告 : 諏訪湖チャリティーウォーク その他
- 第7回 日時 : 平成20年6月15日(日) 10:00~12:00
 出席者 : 沖野・金子・久住・長崎・宮坂・両角・事務局 <敬称略>
 内容 : 1. 諏訪地域エネルギー事業について
 2. (NPO)日本民家再生リサイクル協会との合同イベントについて
 3. ニュース No. 3 の発行について その他
- 第8回 日時 : 平成20年7月20日(日) 10:00~12:00
 出席者 : 沖野・金子・久住・小池・長崎・宮坂・事務局 <敬称略>
 内容 : 1. (NPO)日本民家再生リサイクル協会との合同シンポジウム<経過報告>
 2. 諏訪地域エネルギー事業について<経過報告>
 3. 平成20年度定期大会について
 4. 美しい環境づくり諏訪地域推進会議について
 5. 諏訪湖クリーンフェスティバル(9月6日)への参加
 6. 会員の入退会(理事会承認事項)
 7. その他 (場所 : NPO 法人スマートレイク事務所)



【会員の異動】 新入会の方々 小松 まや、中澤 富夫、井上 祥一郎、永見 靖 (以上 正会員)
 田代あすか (高校生会員)
 鮎澤 優輔、小林 祐樹、小池 教史 (以上 学生会員)

退会される方々 原 尚彦、両角 修次 <順不同・敬称略>

企画・編集・発行 諏訪湖クラブ事務局 〒392-0017 諏訪市城南二丁目2362
 TEL/FAX 0266-58-0490
 E-mail e-suwa-info@lake.gr.jp



諏訪湖クラブニュース

No. 3